

**平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第1回稲毛区役所部会議事録**

1 日時：平成26年7月7日（月）午後3時30分～午後5時30分

2 場所：稲毛区役所 3階 講堂

3 出席者：

(1) 委員

横山清亮委員(部会長)、小川真実委員(副部会長)、中島壮史委員、西川明委員

(2) 事務局

深山副区長、南雲地域づくり支援室長、須崎主査、福島主任主事

4 議題：

(1) 平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターについて

イ 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて

(2) その他

5 議事概要：

(1) 平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターについて

平成25年度に千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて

平成25年度に千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(2) その他

議事録の公開について、事務局から説明をした。

6 会議経過：

○司会 それでは、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより、平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回稲毛区役所部会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます、稲毛区役所の地域振興課地域づくり支援室の須崎と申します。どうぞよろしくお願いたします。

まず、本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されてお

りますが、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

現在、傍聴人は来ておりません。

なお、本日は地球温暖化防止の取り組みの一環として、職員は軽装とさせていただいております。ご了承ください。

本日の委員の皆様についてですが、お手元の資料2の委員名簿の皆様でございます。昨年度の部会から変更ございませんので、今回ご紹介は省略させていただきます。

また、池田委員におかれましては、本日欠席というご連絡で、議事に関しましては、他の委員の皆様にご一任するとのお話をいただいております。

続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

まず、副区長の深山でございます。

○副区長 稲毛区副区長の深山でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 地域づくり支援室長、南雲でございます。

○事務局 南雲でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 同室主任主事の福島でございます。

○事務局 福島でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 繰り返しになりますが、私、同室主査の須崎でございます。

以上、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、副区長の深山からご挨拶を申し上げたいと思います。

○副区長 改めまして、稲毛区副区長の深山でございます。

本日は、お忙しい中、また蒸し暑い中、ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

日頃より、委員の皆様方には区行政に対しまして、多大なるご支援、ご協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。また、昨年度は、当部会において有意義なご審議をしていただき、重ねてお礼を申し上げます。

さて、本日は、穴川、長沼、2か所のコミュニティセンターの平成25年度の管理状況につきまして審議をしていただくことになっております。両方のセンターともに、昨年度の審議経過を真摯に受けとめ、自主事業への工夫や経費削減に取り組んでおるところでございます。

本日、12時から1時までの昼休みを利用して、穴川コミュニティセンターの自主事業でございますロビーコンサートを区役所1階で開催したところでございます。たくさんの方の市民の方がお聞きになっていらっしゃいました。そのようなことで、市民の方に愛され、また利用してよかったとだけいただけるイベントを開催し、地域コミュニティの拠点としての事業展開を進めていくよう努力しているところでございます。

委員の皆様におかれましては、ぜひとも忌憚のないご意見を賜り、昨年と同様のご協力をいただきますようお願いいたします。

どうぞ、本日はよろしくお願いいたします。

○司会 それでは、副区長は次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

それでは、議事に入ります前に、お手元の資料の確認をさせていただきます。

本日、机上配付資料としまして、諮問書の写し、席次表、それと千葉県情報公開条例が

ございます。

次に、事前にお送りいたしました資料ファイルの上から順にですが、開いていただいて、資料1の進行表、資料2の委員名簿、資料3の稲毛区役所部会で審議する公の施設一覧、資料4につきましては、枝番1から4を振ってございまして、順に1が穴川コミュニティセンターの指定管理者評価シート、2が事業計画書、3が事業報告書、そして4が計算書類等でございます。

なお、昨年、委員の方からいただいたご意見を踏まえまして、今年度より計算書類にしましては、一式会議資料として添付しております。

続きまして、資料の5についてですが、資料の5は、稲毛区長沼コミュニティセンターのもので、枝番の1から4を振ってございます。先ほどの穴川コミュニティセンターと同様の構成となっております。

続いて、資料の6、今後の流れについて。あとは参考資料1から3ということで、参考資料1、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、参考資料2、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について、参考資料3、部会の設置について、以上をお配りしております。

不足等ございましたら、お知らせください。よろしいですか。

それでは続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日、全委員5名のうち4名の方にご出席いただいておりますので、半数以上のご出席ということで、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項に基づき、本会議は成立しております。

それでは、これより議事に移らせていただきます。

議事につきましては、進行を部会長にお願いしたいと存じます。

よろしく申し上げます。

○部会長　　よろしく申し上げます。

確認ですが、当日配付の資料で、FunSpace の分ですかね、事業計画書と事業報告書と収支計算書があるのですが。

○事務局　　平成26年7月1日の最新の事業報告書と収支計算書、計算書類一式です。

○部会長　　本資料は皆さん持っているということですね。わかりました。

それでは、次第に従いまして、進行してまいります。ご協力のほど、よろしく申し上げます。

議題1の「平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」に入らせていただきます。

初めに、千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターの年度評価を行います。

事務局からご説明をお願いします。

○事務局　　地域振興課地域づくり支援室の南雲でございます。私のほうからご説明させていただきます。

それでは、穴川コミュニティセンターの平成25年度指定管理者評価シートについてご説明いたします。穴川コミュニティセンターの資料4-1をごらんいただきたいと思います。

1ページの「1 基本情報」ですが、指定管理者は株式会社京葉美装、指定期間は平成

23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、「2 管理運営の実績」についてです。「(1) 主な実施事業」の「①指定管理事業」につきましては、ごらんとおりでございます。

「②自主事業」につきましては、年間で31件実施されており、昨年度の22件から9件増加し、新規事業も多く実施されております。各事業は、1ページから2ページにかけて、ごらんとおりでございます。稲毛区役所ロビーや穴川コミュニティセンター多目的室で実施しております各種コンサートは、内容も三味線、フルート、ウクレレ、ハープ、吹奏楽など多岐にわたります。

中でも、2ページの下から2段目の千葉県立京葉工業高等学校吹奏楽部ミニコンサートは、同高校と連携いたしまして、25年度から新規に実施したもので、演目も「宮崎駿アニメメロディー」、「あまちゃん」など、大人から子どもまで楽しめる内容となっており、好評を博しました。なお、実施に当たっては、幼児連れの方が参加しやすいよう、床にカーペットを敷きまして、客席とするなどの工夫も見られたところでございます。

また、2ページの1段目でございますが、放射線医学総合研究所の有志OBにより設立されております「ニルス理科実験クラブ」と連携いたしまして、小学生向けの理科実験教室を実施しております。専門的な知識を小学生にもわかりやすく実験を通して学ぶことができる取り組みでございまして、子どもたちの想像力や好奇心を育てると大変好評でございました。

2ページの「(2) 利用状況」につきましては、平成25年度の利用者数は14万5千925人で、前年度比99.9%でほぼ横ばいでございます。稼働率につきましては、51.4%で、昨年度よりも向上しております。

次に、3ページの「(3) 収支状況」につきましては、事務費の支出が計画額以下であったことなどにより、全体の決算額はプラス79万3千円となっております。

次の「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ごらんとおりでございます。

次に、4ページをごらんいただきたいと思います。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてです。

まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてです。アンケート調査は、管理運営の基準及び年次計画書により、年2回実施する計画でございましたが、利用者の負担増、指定管理業務の多忙等を理由に、1月に1回の実施となっております。実施回数が計画どおりにいかなかったことに対する評価は、また後ほど説明させていただきます。

「② 調査の結果」といたしましては、「ク 施設主催の講座等の企画」、「ケ 予約方法」を除いて、「満足」以上が60%以上とおおむねよい評価をいただいております。講座等につきましては、利用者の方々のご意見を踏まえ、よりよい講座を提供できるよう引き続き改善してまいりたいと考えております。また、予約方法につきましては、昨年10月からインターネットによる予約に切りかえた影響が考えられますが、施設職員により予約方法を解説するなど、適宜対応してまいります。

また、「③ アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」でございますが、体育館の床が滑るので対処してほしいとのことに対しましては、床にタオルを置いた

り、床へのノンスリップワックスがけの回数をふやしたりして対処しているところがございます。

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」でございますが、0件でございます。

次に、「4 指定管理者による自己評価」についてですが、管理運営面においては、節電に努めるとともに、館内照明のLED化を進め、省エネ・節電に努めた結果、大幅な消費電力削減を達成しております。利用者サービスにおいては、利用者の安全確保と利便性を第一に、畳の張りかえ、スポットクーラーの修理、壁の補修など、維持管理に努めております。また、自主事業においては、利用者のニーズを把握し、前年度よりもさらに多くの事業を実施できたことなど、総じて限られた経費の中で、でき得る限り利用者ニーズに沿った質の高いサービスを提供できた、という自己評価でございます。

次に、5ページをごらんください。

「5 市による評価」ですが、評価は、3段階評価の真ん中であります「A」といたしました。Aというのは、「おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」という評価でございます。

先ほど申しあげましたように、本来2回実施する予定であったアンケートが1回になってしまったという減点はあるものの、修繕や清掃が適切に実施されており、利用者の安全や利便性が向上され、アンケートでも評価されていること、自主事業についても、当初の計画以上の回数が実施され、家族で参加できるような工夫がなされていること、光熱水費の削減に努力しているなどの点で評価できるためです。

それでは、「履行状況の確認」につきまして、ご説明いたします。

5ページの「(1) 市民の平等な利用の確保・施設の適正な管理・その他市長が定める基準」の上から2段目、「記録・文書の保管」につきましては、サーバーにてバックアップし、あわせて紙・CD-Rできちんと保管されており、仕様、提案を上回る実績・成果がございましたので「3」としております。また、下から6段目、「年2回利用者アンケートの実施」につきましては、1回のみの実施であったため、仕様、提案どおりの運営が行われなかったとして「1」としてございます。

次に、6ページをごらんください。

上から3段目、「再生資源等の利用・環境に配慮した役務の提供」につきましては、電気使用量の削減だけではなく、光熱水費において節電の経緯やガス、水道の節約の状況をグラフに掲示する等、利用者の意識向上の啓発を行っているため、「3」としております。

下から8段目、「複合施設との連携」につきましても、防火管理者協議会への加入やがん検診受付、区役所ロビーコンサートの開催等、消防署、社会福祉協議会、稲毛区役所との連携も充実しているため、「3」としております。

その下、「近隣施設との連携」につきましても、先ほどご説明いたしました京葉工業高等学校との連携による自主事業の実施をはじめ、各コミュニティセンターとの情報共有、近隣施設への備品の貸し出し、幼稚園や小学校のイベントへの会場提供など多くの連携をしているため、「3」としております。

その下、「ロビーでの新聞の提供」につきましても、朝日新聞、千葉日報の2社の提供に加え、血圧計、体重計、ウォータークーラーの設置をしているため、「3」としております。

次に、7ページをごらんください。

1段目から4段目まで、「備品等の貸し出し」、「活動に関する情報提供・紹介・助言」、「地域の文化資源、人材等の情報発信」、「受付での補助サービス」につきましても、備考欄記載のとおり、仕様、提案を上回る実績・成果がありましたので「3」としております。

「(3) 施設の効用の発揮・施設管理能力」の中の「ホームページの更新」、「情報誌、チラシ等の作成・配布」、「利用サークルの情報の掲載」につきましても、備考欄記載のとおり、仕様、提案を上回る実績・成果がありましたので「3」としております。

次に、8ページをごらんください。

上から2段目、「有資格者の存在・配置」につきましても、所長が各種資格を保有しているため、「3」としました。

上から5段目、「特定の年代や性別に偏らず、世代間交流を考慮した事業」、「高齢者・障害者・乳幼児連れが参加しやすい事業」、「自主事業の実施状況」につきましても、先ほどご説明しましたとおり、高齢者や障害者などを含め、大人から子どもまで誰でも参加しやすいものを企画し、配慮するなど、自主事業の内容を工夫し、さまざまな事業を展開しているため、3としております。

一番下、「修繕の実施」につきましても、LED照明への交換や、利用者への安全・利便性を考慮して積極的に個別修繕を実施するなど、施設の維持管理に日々努めているため、「3」としております。

次に、9ページをごらんください。

上から3段目、「美観の保持」につきましても、清掃等がきちんとなされている上、季節感を感じさせる装飾の実施などが、利用者からも高い評価を受けているため、「3」としております。

下から4段目、「職員へのAED講習」につきましては、AED上級救命講習者5名、普通講習者1名など職員へのAED講習がきちんとなされており、その下、「備蓄倉庫スペースの確保」につきましても、仕様、提案を上回る実績・成果がありましたので、「3」としております。

次に、10ページをごらんください。

「経費削減の努力」につきましても、LED化の推進により電気代の削減を実施しているため、「3」としております。

その他の項目においては、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営がほぼ良好に行われておりましたので、全て「2」と評価いたしました。

したがって、10ページにございます全ての項目の評価の平均は、2.3点となっております。履行状況については、72項目中、3点が21項目、2点が50項目、1点が1項目となっております。

穴川コミュニティセンターの指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。よろしくお願いいたします。

○部会長 ありがとうございます。

ただいま施設所管課から説明がありましたが、年度評価では、施設管理運営のサービス水準の向上や、業務効率化に関することに加え、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっております。

指定管理者の財務状況等に関する意見交換は計算書類等をもとに行いますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となっていますので、同条例第25条ただし書きの規定により、会議の当該部分は非公開といたします。

したがって、初めに財務状況に関する意見交換を非公開で実施し、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換につきましては、再び公開といたします。

傍聴人はいらっしゃらないですね。

○事務局 はい。

○部会長 では、早速ですが、委員から、指定管理者の財務状況等に関しまして、計算書類等をもとにご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○部会長 委員の皆様からご意見いただきましたが、財務状況についての意見につきましては、前期に比べて経営が好転しており、直ちに倒産・撤退等のリスクはないと考えられるということで、これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、次に指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については、公開とします。

傍聴の方はいらっしゃいませんので、このまま続けたいと思います。

それでは、何かご意見ございますでしょうか。

○委員 ちょっと確認したいのですが、各諸室の使用状況について。4-3の3ページです。利用状況とか、諸室のそれぞれの部屋ごとの稼働率というのは、わかりませんか。

○部会長 もうちょっと詳細な稼働率についてですか。

○委員 大体どこの区役所部会でも問題になるのが、料理室の問題ですよ。料理実習室の稼働率を上げてほしいというのが、ここ数年来、どこの部会でも意見が出ているんですよ。自主事業で、ビデオの鑑賞会とか、そういうところには力を入れているんですけど、料理実習室については、自主事業をやっている形跡がないんですよ。やっぱり本部会とかで出た意見について、反応していないのかなというのが一つ疑問に思います。

○部会長 事務局としてこの資料がありましたら、公開していただければと思いますが。ちょっと時間がかかりそうですか。

○事務局 少々お待ちください。

○部会長 はい。意見としては、多分、さらなる改善をということでしょうか。

○委員 そうですね。料理実習室の稼働率の向上について、何年間も懸念事項とされてしまっているように見えますので、真摯に取り組んでほしい、というふうになると思います。

○部会長 料理実習室に絞りますか。

○委員 2期目ですし、それくらい要求したい。

- 部会長 諸室全般ではなくて特にその点ということですね。
- 委員 はい。ほかでね、いろいろとね、あれこれ出てきているんだっただらばね、そろそろアイデアを出してもらってもいいんじゃないでしょうか。
- 部会長 一般の諸室としては、自主事業は評価できるところはあるけれど。
- 委員 去年も自主事業についてはちゃんとやっているじゃないですか。もうテンプレ化しているでしょう。
- 部会長 事務局どうぞ。
- 事務局 通年での合算の記録はないのですが、各月の事業費の中で各諸室の利用状況のデータはございます。
- 部会長 あるものを出していただければ。
- 事務局 それをお持ちするという事でよろしいでしょうか。
- 部会長 はい、お願いします。
- 事務局 諸室の利用状況につきましては、諸室ごと通年でとっているデータの記録はございませんので、ひとまずここで公開するものとして、25年度3月の各戸の利用状況の中で、それぞれの諸室の稼働率が反映されておりますので、そちらのほうでご説明したいと思います。
- 3月につきましては、今お話のあった料理実習室に関しては、13.3%の稼働率、他の部屋の稼働率になりますと、創作室47.8%、講習室57.2%、集会室51.7%、和室28.3%、音楽室77.8%、サークル室71.1%、大広間56.1%、多目的室83.3%、会議室43.9%、平均値で53.1%ということになります。お話のとおり、料理実習室が一番低くて13.3%の稼働率ということになります。
- 部会長 ありがとうございます。
- ちょっと限られた資料ですけれども、これを踏まえまして、ご意見をいただければと思います。
- 委員 やっぱり料理実習室の稼働状況を改善する取り組みは、自主事業の中に加えてほしいと。ほかの諸室はいろいろと工夫しているので、そろそろ真剣に取り組んでいただきたいと。
- 部会長 そういうご意見。改善を、ということですね。
- 委員 はい。
- 部会長 ほかに何かご意見はございませんでしょうか。
- 委員 今の件、料理実習室に関連してなんですが。ただいまの取り組みは、いわゆる学習センター、あそこにもあるんですね、調理室が。ほかの施設にもあるわけなんです。それぞれの稼働状況は資料にはないと思うんですが、一般的に調理室は稼働率が低いという、一般的な傾向のような気がするんだけど。資料はないよね。
- 事務局 資料としては持っておりません。
- 委員 低いのは事実ですけど。やっぱり時間帯によっては家庭で調理する時間帯があるじゃないですか、夕食時とか、その時間帯を引っこ抜いて調理するというのは考えにくいので。
- 部会長 ニーズの問題だと思います。ニーズをいかに酌みとれるかという。
- 委員 ただ、自主事業でさまざまな取り組みをしているのならば、料理実習室もあつ

でもおかしくないじゃないかと。やっぱり自主事業の組み方がね、いろいろと凝っていて豊富だけれども、稼働率の低いところにちゃんと目が向いているのかということに違和感があるんです。

○委員　そういう関連で申し上げますと、今25年3月の数字を挙げていただいたんですかね。それだけというと、音楽室や多目的室は、聞いた限りでは7割というような稼働率を上げていらっしゃるって、ここは単価的には高いところですね。音楽室も、多目的室も、広場もそうですね。スペースが広いし、使い勝手がいいのか、多目的室が明るくて、コンテンツをふやしておられるとか、いろんな要因があると思うんですけども。単価が高いところの稼働率が高いというのは、それはそれでいいことなのかなとは思いますが。得意な分野があって、それを伸ばそうとする。そういう視点はあってもいいのかなとは思いますが。

○委員　公の施設なので、得意なところだけ頑張るのはどうなのかな、と。

○部会長　それはね、あるでしょう。

○委員　営業本位ではなく。公益性というのが重要なことなので。

○部会長　まあ自主事業については、利益還元等もしなければいけないことになっておりますので、ある程度、収益を出していただいているのかなという理解もできますね。

一応、自主事業については評価できる部分があるというご意見でよろしいですかね。委員としては。

○委員　そうです。

○部会長　委員、何かご意見ございますでしょうか。

○委員　特にありません。

○部会長　私からちょっとだけ申し上げますと、やはりこの自主事業に関しては、評価できるなと思います。

あと市の評価に関して、ちょっと質問なんですけども、ルーチン的なものというのは数字、2以上つかないですよ。そうだとすると、4-1の5ページ以降、「履行状況の確認」の中で、例えば時間を厳守しているとか、そういうのは3とつけようがないものだと思いますので、そういうのを省くと3の数は多いんでしょうかね。市としてはある程度、この事業者に対しては積極的に評価しているという、そういう理解でよろしいでしょうか。

○事務局　そうですね。確かに委員が言われるように、料理実習室等の稼働率で低いところはありますけども、他方面で自主事業は積極的に行っているところを評価して、3としたというところがございます。

○部会長　あとすみません。10ページ目の、例えば、経費削減の努力としてということを書いてあるんですけど、これは昔に比べれば下がった点でしょうけれども、ここは下がっていることを前提に評価すべきでないですかね。計画に対する評価という意味なら、本来なら「2」ですよ。昔と比較して経費が削減できたからといって、もう既に計画段階で見込んであるわけですし。まあ、細かい話ですけども。

ですが、ある程度、積極的に評価していい業者ではないかなと私は思っておりますが、委員のおっしゃられたこともごもっともですので、自主事業について、手薄な分野について、もうちょっと尽力していただきたいというふうに申し上げたいなと思います。

○委員　それについては、しっかりと明記してもらいたいです。穴川コミュニティセンターは、年々活気が増しているんですよ。数値には表れないけれども。利用状況はふえ

ている、活気がある、そういう印象を持っています。

○部会長　　そうですか。ユーザー視点のご意見として、大事なご意見だと思います。

○委員　　若い人たちの利用も結構増えている。

○部会長　　その辺はどうなんでしょうかね。近場に大学が二つあったり、それ以外にも学校が多いなど、若年層の人口が多い土地のようですけど。

○委員　　ほかのコミュニティセンターより穴川のコミュニティセンターは若い利用者が多いんじゃないでしょうか。

○事務局　　長沼コミュニティセンターと比べては若い人が多いとは思いますが。確かに大学も近いですし、京葉工業高校とか敬愛高校とかですね、高校もございますので、その辺の若い方々が体育館も含めて結構、利用されていると。それから、諸室につきましても、サークルで利用される場合もございますので、やはり若い人が使われているというところは結構あるようでございます。

○部会長　　その点は、積極評価のご意見ということにして。

○委員　　事業の採点をしてみて思うのですが、利用者の声を鑑みて、反映させてという話があるんですけど、やっぱり公益性のある事業をしてほしいんですよ。内容を見てみると、娯楽の話が多いんですよ。だから区役所部会だと、こういった部会委員の発言を受けて、例えば防犯教室をやったりとか、採算性とかはよろしくないかもしれないですけども、そういう地域にもうちょっと密着したテーマも扱っているところもあるので、やっぱり公の施設の管理者としての立場に立って、公益性ということをごさね、もうちょっと真摯に考えてほしいと思うんです。

コミュニティセンターの活気があればいいというだけの話じゃなくて。千葉市の税金を使って、公の施設でやっているんですから。区役所と提携して、防災の備品とかも扱ったりもしているわけでしょう。

○部会長　　わかりました。比較的運営が好調だということを前提にやはりそういうことまで望むことだと、ポテンシャルのある業者だと思いますので。さらに公益性に留意していただきたいと。

○委員　　あるいは、知育とか、徳育とか、食育だとか。食育教育だって重要だと思うんですよ。

○部会長　　そういった点も盛り込んでいきたいと思えます。

ご意見としては、大体こんな感じでしょうかね。じゃあ、すみません。事務局のほうで意見の取りまとめをしてください。

○事務局　　少しお待ちいただけますでしょうか。

○部会長　　申し上げたように、おおむね好評だとは思いますが。地元の団体と連携した活動というのも評価すべきところかなと思いますけど。さらに利用率の低い施設の利用率の向上であるとか、公益性もある自主事業についても頑張ってもらいたい。

○委員　　公益性のある事業も、どしどし入れてほしい。

○部会長　　努力してほしいという、そういう趣旨ですね。

○委員　　あとは、ちょっと事務局に質問があるんですが、穴川の添付資料の42ページ、添付資料と書いてあるところの42ページに、収支決算書というのがございます。そこを見てみると、市からの委託料収入があって、それぞれの項目がありますよね。そこを見て

いただければわかりますが、料理実習室が一番金額が少ないのがわかりますよね。

○事務局 はい。

○委員 多目的室が飛躍的に高くなっているのも。それはしようがないと思うんですが、支出の区分の中の人件費があつて、事務費があつて、管理費がありますよね。管理費の中の修繕費が180万円になっているんですが、その内訳を見てみると、タイルカーペットの張りかえから始まって、畳表をかえたりとか、いろいろと積極的になさっていると思うんですよ。これは年々増加しているんですか、この経費というのは。

○事務局 修繕費が24年、25年という形で増加してきた分ですね。ちょっとお待ちいただけますか。

○委員 私が用意してきた去年の資料によると、去年が273万6,000円で、今年が180万円に減っているんですけど、これはコンスタントに設備の修繕費用がかかっていると見ていいですか。

○事務局 そうですね。使っているうちに、どうしても傷んでくる部分がありますので。利用者の安全性等も考えて、修繕は加えていかなきゃなりません。ただ、年によって、修繕をしなければならない規模が大きい場合については当然金額がかかってしまうというところがありますし、25年度については、この畳表のほか、カーペットの張りかえとかいろいろとやったわけですけども、利用者の利便性とか、安全性を考慮して、悪くなったら変えていかなきゃならない状況です。

ですから、傷んだところは、発見された段階で修繕していつていると。それと、これは26年度の話になりますけども、部屋の壁に、どうしても椅子とか机とかを移動する時にぶつけてしまったりとかして穴があいてしまって、その修繕をしているとか、いろいろと利用者の利便性、安全性を考慮して、随時修繕を加えているという状況です。

○委員 聞きたいのは、業者の責めに帰するものなのか、施設そのものの経年劣化によるものなのかという。指定管理者が負担する額が大きくなり過ぎてないのかなというのが懸念で、いたずらに指定管理者だけに負担させていい性格のものではないだろう、と。委託費との兼ね合いで言うとき大きくなっているような気がするんです。

○部会長 比較的この京葉美装さんは、うちらで頑張りますぐらいの感じでしたよね。赤が出てみたいなのを社長さんおっしゃっていた。そういう経営感覚ですかね。

○事務局 その辺のところは、利用者第一という形で考えているところですので、利用者の利便性、安全性が少しでも損なわれるような部分があれば、直していこうと考えてもらっています。

○委員 そんなに毎年毎年多額の修繕費を計上しなきゃいけないのかというのが、ちょっと疑問にあつて。施設の構造的な問題なのかな。

○事務局 利用頻度の高いところについては、経年によって、どうしても消耗していくというところがあります。ある程度までは我慢できるけども、ちょっとこれじゃあ、やっぱり直さなきゃだめだなどというところまで来たら、修繕を加えているところですよ。

○委員 余りにもその金額が多いと、利用者側にもちょっと考えてもらいたいなという。利用者側に公の施設を使うに当たって、利用の仕方について、ちょっと啓蒙するということも必要かなと。利用者側のモラルの問題もあるのかなと思うんですよね。

○部会長 どのように意見としてまとめますか。

○委員 意見としては、場合によっては、利用者側に公の施設の使用について啓発をする取組みもしてほしいと。

○部会長 指定管理者に対する意見として、ですか。要するに、指定管理者に「啓発せよ」ということなんですか。

○委員 本来ユーザー側に言うことなんだけれども……

○部会長 それを指定管理者に言ってもらおうということですね。

○委員 公の施設を管理している側としては。啓発強化はしてもいいんじゃないかと。やり方はいろいろあると思うんですよ。張り紙1つでも構わない。利用するに当たって、年1回注意をするとか。

○事務局 張り紙など、利用に際しての注意等はやっている部分もありますが、さらに充実させていくという方向でしょうか。施設使用のマナーに関する啓発の強化という感じでしょうか。強化を図りたいとか。

○部会長 そんな感じで、皆さんよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 さまざまなご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上及び業務効率化の方策、また改善を要する点などの主な意見といたしましては、

1、自主事業に関しては、地域との連携を図ることを積極的に行っており評価できるが、公の施設であることを踏まえ、公益性に留意して実施していただきたい。

2、諸室の利用のうち、料理実習室の稼働率が少ないので、自主事業の実施など、稼働率向上のための改善を図りたい。

3、施設の劣化が見られるため、利用者に対する施設利用に関する啓発なども行われたい。

そのような意見でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、先ほどの財務状況のほうの意見も含めまして、千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細につきましては、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 施設所管課におかれましては、本部会で委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

その前に、5分程度休憩を入れましょうか。35分まで休憩としたいと思います。

(休憩)

○部会長 それでは、次に、千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて、説明をお願いします。

○事務局 それでは長沼コミュニティセンターの平成25年度指定管理者評価シートについてご説明いたします。

資料5-1をごらんいただきたいと思います。

1ページの「1 基本情報」ですが、指定管理者は FunSpace・オーチャー共同事業体、

指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、「2 管理運営の実績」についてでございますが、「(1) 主な実施事業」の「① 指定管理事業」につきましては、ごらんとおりでございます。

「② 自主事業」につきましては、年間で20件実施されており、各事業は1ページから2ページにかけまして、ごらんとおりでございます。「そば打ち体験」、「郷土の歴史探訪 長沼散歩」、「押し花うちわづくり」など、長沼コミュニティセンター利用サークルと連携した自主事業が実施され、地元に根差した活動が多く実施されています。

また、2ページ一番下の長沼防災フェア2014につきましては、地域の防災意識を高めるためのイベントとして、昨年引き続き地域の市民や利用者に変な貴重な機会を提供しております。

「(2) 利用状況」につきましては、平成25年度の利用者数は7万5千241人で、前年度比で100.4%と微増しております。

「(3) 収支状況」につきましては、管理費等の支出が計画額以上であったことにより、全体の決算額はマイナス11万円となっております。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」についてはごらんとおりでございます。

次に、3ページをごらんください。

「(6) 情報公開の状況」ですが、開示請求が1件ございました。開示請求された文書は、指定管理者が平成22年度の公募時に提出した提案書でございます。こちらにつきましては、内容に個人情報や法人等情報が含まれましたので、当該部分を開示しないこととし、部分開示という形にいたしました。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてでございます。アンケート調査は、年2回、7月と1月に実施しておりますが、7月については市の様式ではなく、指定管理者が独自のアンケート様式で実施しているものでございます。

「②調査の結果」といたしましては、7月につきましては、各指標を10段階で回答することになっておりますが、おおむね満足との回答をいただいております。特に、「ケ各部屋の清潔感」、「シ トイレの清潔感」につきましては、10と回答した方が28.5%という割合になり、施設の清潔度に対して高い満足をいただいているところでございます。

1月につきましては、3ページから4ページにかけてごらんください。

「ケ 施設主催の講座等の企画」、「ケ 予約方法」を除いて、「満足」以上が60%以上とおおむねよい評価をいただいております。講座等につきましては、利用者の方のご意見を踏まえ、よりよい講座を提供できるよう引き続き改善してまいりたいと考えております。また、予約方法につきましては、昨年10月からインターネットによる予約に切りかえた影響が考えられますが、施設職員により予約方法を解説するなど、適宜対応してまいります。

また、「③ アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」ですが、スタッフにより説明が違ふときがあるというご意見に対しまして、既に引き継ぎノートの導入や、ミーティングでの確認を強化するなど、対応済みでございます。

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」については、ごらんのとおり2件寄せられました。2件とも、体育館の冷房設置についての意見でございましたが、それぞれに対し、バドミントン等、館内の空気の流れが影響を与える競技があるため、冷房の実施はしない旨、説明いたしたところでございます。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」についてですが、利用者人数が、諸室は対前年度比2.54%、1,301人増加しておりますが、体育館は4%減、約667人減少しております。これに対し、種目固定など利用者をふやす取り組みも検討しております。また、施設の認知度を高め利用者を誘引するため、長沼プレスを発行し、イベント開催案内などとあわせて近隣3地区・58町内自治会へ回覧したほか、大型商業施設・団地への告知、ホームページやフェイスブックでの宣伝広報を実施し、低稼働率の諸室の稼働率向上に努めるとともに、自主事業からサークル化を見込んだ事業の実施を検討しております。また、省エネルギー対策を東日本大震災以降継続しており、おおむね運営基準に従って維持管理運営をすることができたという内容の自己評価でございます。

次に、「5 市による評価」ですが、評価は、3段階評価の真ん中であり「A」といたしました。理由といたしましては、情報発信を含め、近隣施設との多様な連携が図られていること、特に情報発信については、フェイスブックにイベント及びコンサートなどの情報を掲載したり、近隣の商業施設等へ情報紙や、チラシ等を配布したりといった取り組みが徐々に認められ、新聞紙面やインターネットで掲載されていること、また自主事業においては高齢者、障害者、乳幼児連れが興味を持ち参加しやすい事業を実施していること、防災フェアを実施し、近隣自治会及び近隣住民も参加してもらい開催していることなど、評価できる点が見られるものの、全般としては、おおむね事業計画どおりの事業運営が行われており、また「履行状況の確認」においては、多くの項目を3段階評価の真ん中であり2点としているためです。

それでは、「履行状況の確認」につきましてご説明いたします。

「(1) 市民の平等な利用の確保・施設の適正な管理・その他市長が定める基準」についてですが、一番下の記録・文書の保管につきましては、サーバーにてバックアップし、紙・CD-R等にもきちんと保管していることから、仕様、提案を上回る実績・成果がありましたので、「3」としております。

次に、5ページをごらんください。

5ページの内容は、全て「2」としております。

次に、6ページをごらんください。

1段目、「近隣施設との連携」につきましては、近隣商業施設、近隣町内自治会などとも連携がよくとれていたため、「3」としております。

「(2) サービスの向上」の中の下から4段目、「活動に関する情報提供・紹介・助言」、「地域の文化資源、人材等の情報発信」、「サークル間の交流・活性化」につきましては、地域の商業施設と連携した各種宣伝広報の実施、地域の歴史紹介や自主事業実施に対するサークルの協力の獲得など、地元根差した各種取り組みがなされていたので「3」としております。

次に、7ページをごらんください。

「(3) 施設の効用の発揮 施設管理能力」の中の「ホームページの更新」、「情報紙、

チラシ等の作成・配布」、「プレスリリースの実施」につきましては、フェイスブックを用いたホームページの活用などの電子情報、長沼プレスを作成し、近隣施設へ配架依頼を行う、各種メディアへの積極的なリリースなど、利用促進のため有効な取り組みを行っているため、「3」としております。

次に、8ページをごらんください。

「特定の年代や性別に偏らず、世代間交流を考慮した事業」、「高齢者・障害者・乳幼児連れが参加しやすい事業」、「自主事業の実施状況」につきましては、世代間交流を考慮した上で、高齢者・障害者・乳幼児連れも参加しやすい工夫がなされており、さまざまな分野で多種多様の事業が実施されていることから、「3」としております。

上から8段目、「駐車場管理業務の実施」につきましては、サークルの予約状況を確認し、職員が車両の駐車場への誘導を行っているほか、乗り合わせで来るように指導するなどの工夫を実施しているため、「3」としております。

下から6段目、「美観の保持」につきましては、トイレに花を飾ったり、ロビー横の庭にガーデニングサークルをつくり、植物を植えたりするなどの取り組みが、アンケートでも高い評価を得ているため、「3」としております。

次に9ページをごらんください。

上から4段目、「職員のAED講習」につきましては、スタッフに定期的ビデオを視聴させ、緊急時に実践できるようしているほか、講習会へも参加するなどの取り組みがありましたので、「3」としております。

「備蓄倉庫スペースの確保」、「災害時対応物品等の備蓄・管理」、「利用者・近隣住民と災害についての話し合いや、防災訓練の機会を設ける」、「緊急用具等の完備」、「防犯防災訓練の実施」につきましては、事務所の会議室を備蓄倉庫スペースとして確保し、職員に対する防災防犯訓練だけでなく、直下型地震に備えての講習会を町内自治会や近隣住民も参加してもらい、防災訓練の一環として実施しているなどの取り組みがありましたので、「3」としております。

次に、10ページをごらんください。

「(4) 管理経費の削減」の中の「経費削減の努力」については、緑のカーテンづくりを行い光熱水費の削減を図っているほか、本社との電話連絡は無料通信を使用するなど、省エネを推進する取り組みがありましたので、「3」としております。

その他の項目においては、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので、全て「2」と評価いたしました。

したがって、10ページでございます、全ての項目の評価の平均は、2.2点となっております。

履行状況については、82項目中、3点が20項目、2点が62項目となっております。

長沼コミュニティセンターの指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

よろしくお願いたします。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。

先ほどと同様、ここからは非公開といたします。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○部会長 ではまず、ファンスペースにつきまして、財務状況に関する意見ですけれども、経営は黒字であり、直ちに倒産、撤退するリスクは低い、借入金が増加し利益が減少しているため、経過に注視を要する、という意見です。

オーチャーにしましては、利益は増しており評価できる。一方、自己資本率も高く、倒産、撤退のリスクは低い。そういう意見でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等につきまして、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

○委員 資料5-1の評価シートについて、長沼コミュニティセンターにつきましては、指定管理者が諸室の稼働率の向上について真摯取り組んでいて、そば打ち体験教室、男子スイーツ教室といった、これまでの部会で指摘してきたことを真摯に取り組まれているというのは、評価したいなと考えております。

○部会長 資料5-3の別紙1に、稼働率も出ていますね。

○委員 シニアの食育とか、調理室・料理室の関係で言うと、そば打ち、スイーツ教室、シニアの食育、三つやっているの。あとは公益性の高い事業として長沼防災フェアを続けているということも評価に値するなど。

とはいえですね、稼働率が全体で29.9%というのは、低迷しているなど。低迷している中でも、一応コミュニティセンターを盛り上げようという努力は、評価はできるというふうに考えております。

でも、もともと考えてみると、ここは2年前、6万9,000人ぐらいでしたよね。それが7万5,000人までふえているから、健闘しているなというふうには思いますよね。時系列で変化等を見て。

○部会長 高評価ということでしょうかね。利用者数は少ないながらも、公益性を踏まえて稼働率の向上に取り組んで努力をしている。

○委員 利用者人数が少ないというのは地の利の問題があると思います。

○委員 そうですね。

○委員 交通の便の問題。本当に立地がよくない。相当に苦勞していると思います。

○委員 ええ。もう本当によく健闘していると思います。

○部会長 もともと立地的に相当のハンディキャップがあるということですから、いかんともしがたい事情でしょうから。

○委員 その割には伸びていると思います。

○部会長 委員も同じように高評価ということでしょうかね。

○委員 私も新規に書かれている自主事業が結構ある、増えてきていることは、いいこ

とだなと思いますね。特別支援学校だけ見てもいいことですね。防災もいいのではないのでしょうか。

○部会長　まさにそのとおり指摘しましたが、実際になかなか人数的に自主事業が伸びているかという、先ほど指摘があったシニアの食育は、二人しかまだ来ていないですね。

○委員　まあまあそれはもう・・・

○部会長　しょうがないという。

○委員　はい。

○部会長　ほかに何か逆に改善点等がありましたら。

○委員　やっぱり難しいですかね。これ以上に利用状況とか稼働率を伸ばすのは。地理的な問題がありますから。

○事務局　先ほどの説明の中でも申し上げましたけれども、近隣商業施設とか、近隣の町内自治会、各団体等にその事業等の周知徹底を図っております。

委員が言われるように、交通の便など立地上の問題もあるかもしれません。それと人口的な問題。それがやっぱりネックになっているところです。

それでも、やはり2年前から比べると、7万人を超えるだけの人数を集めてきたということは、委員も言われるように、かなり健闘しているというふうに我々も判断しているところでございます。

地理的なハンディキャップが非常に大きいところでございますけども、その中においても指定管理者が知恵を絞って各種自主事業、それから委員が言われるように、公益性のある事業等もやっております。それから、料理実習室を使った事業も考え実施しているところで、精いっぱい頑張っているのではないかなというふうに評価しているところでございます。

○委員　資料5-1の2ページに、「(2) 利用状況」というところですけども、25年度の目標値が6万5,000人で、結果、7万5,000人だから、114%達成になりました。この目標値の設定がどうですかね。

○部会長　若干甘い感じはありますね。前年度は7万4,000ですから。

○委員　そうですね。

○部会長　それになぜ、少ない目標値をつけるのか。

○委員　数字の持っていく方が違和感を持ちます。

○部会長　そこは114%を評価するのではなくて、やっぱり100.4%という前年度比を見るべきでしょうね。

○委員　そうですね。

○事務局　その辺のところは、目標値を平成24年度の実績が確定する前に設定しているので、ということもあと思います。

○委員　単発のイベントが多いので、以前の実績をそのまま目標値のベースに使うのも難しいかもしれないですね。

○事務局　それもあと思います。

○委員　もともとここって地理的な条件とか考えたら、そこまで稼働率が上げられそうなどころじゃないですね。だから、車も「相乗りして来てください」とお願いしている

のでしょうか。

○事務局　　そうです。

○委員　　駐車場の関係で。土地が全然違うじゃないですか。こっちなんか。

○事務局　　そうですね。駐車場の数等も考えますと、穴川コミュニティセンターと、長沼コミュニティセンターでは車両の台数が違いますし。

○委員　　あその並びのパチンコ屋さんとか、トライアルさんとかに突っ込むわけにいかないですしね。

○事務局　　確かに、そのとおりですね。

○委員　　だから、相乗りしてくださいというふうにお願いするわけですね。

○事務局　　そうですね。それと、ここにも書いてありましたけど、職員が駐車場の整理等もやっているわけですが、こちらの穴川コミュニティセンターについては、区役所の警備員がいますので、警備員が穴川コミュニティセンターを利用する車両の誘導等もある程度やっています。その辺についても長沼のほうは若干、ハンディキャップはあるかもしれません。

○部会長　　わかりました。ただ意見として、あえて厳しいことを言いますと、そこら辺は先ほど申し上げた地理的なそういうハンデもありますが、さらなる魅力的な自主事業の増加等によって、利用者増加を図りたいと。厳しいとは思いますが。

○委員　　それはもう民間に委託している以上はそのようなことを求めなければならないですね。

○部会長　　ええ。改善してもらいたい点として。

○委員　　やっぱり単発の自主事業しかないということもどうかと思いますね。もうちょっと隔月とかで開催してもよさそうなものがありそうな気がしますし、これは部会長の意見に賛同します。

○部会長　　ほかにご意見ありますか。どうぞ。

○委員　　事務局に確認したいのですが、市による評価のところ、長沼コミュニティセンターの資料5-1の5ページ目に、雇用の考え方とありますよね。そこで市内雇用の確保とか、男女共同参画社会の推進とかという項目に具体的な数値が出ておまして、それが穴川と比較ができるのですが、男女共同参画社会の推進のところは男性5人に対して女性12人でも評価できないのですか。

○部会長　　確かに評価は3でもいいような気がしますけど。

○委員　　そこはもう上げてもいいような気がするけどね。やっぱり夜の時間帯は、防犯上の関係で男性職員を多く配置したいというのは、わかりますよ。それでも女性職員の方も雇用されて、その比率が倍以上あるから。次回はちょっと考えてほしいなと思います。

○部会長　　ほかによろしいでしょうかね。

(異議なし)

○部会長　　じゃあ、とりまとめのほうをお願いしたいと思います。

○事務局　　はい。

○部会長　　採点基準、これで比較的緩くなったのですかね。前回までは全部2ということで、3とかというのは全然ついていなかった。どこかの部会で言ったのですけれど、市が良い評価をしたものはきちんと伝えることで指定管理者は喜ぶのではないのですかね。

じゃあ、よろしいでしょうか。

委員の皆様からさまざまな意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見につきましては、諸室の稼働率の向上について努力をしていると。また、長沼防災フェアなど、公益性の高い自主事業を実施していて評価できる。次に自主事業がふえており、地域との連携を進めている点も評価できる。三つ目、地理的なハンデはあるが、さらに継続性もある自主事業の実施など、自主事業の充実化を図り利用者数の増加に努められたい。そういう意見がございました。

これらを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細につきましては、私と事務局にて調整することでご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　施設所管課におかれましては、本部会で委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思っております。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての審議は終了いたします。

最後に、議題2のその他ですが、事務局のほうから何かございませんでしょうか。

○事務局　それでは、今後の予定について、ご説明させていただきます。

資料の6をごらんいただきたいと思っております。

本日、委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、部会長から選定評価委員会にご報告いただき、その後、委員会会長から市長宛に、委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。

この委員会の答申を受けまして、施設所管課が、委員会のご意見を指定管理者評価シートへ記載し、9月上旬までに市のホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

また、今回の部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様に市のホームページで公表する予定でございます。

なお、会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いいたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○部会長　ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。

(なし)

○部会長　では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了いたしました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しします。

○司会　それでは皆様、長時間にわたり、慎重なご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回稲毛区役所部会を閉会いたします。

お忙しい中、委員の皆様ありがとうございました